

**6/15・22,7/6 津山陸上競技場、kanko スタジアム  
目指せ！初勝利！**

女子サッカー・なでしこリーグのFC吉備国際大学シャルムのホームゲームが行われ、サポーターが熱い応援を繰り広げました。

選手は、「シャルム！オーレ！」「頑張れ！」の声援を背に受け、懸命にプレー。勝ち点を獲得することはできませんでしたが、初勝利を目指して、突き進んでいくことを誓っていました。

次のホームゲームは7月27日(日)、津山陸上競技場で伊賀FCと対戦します。



熱烈な応援の中プレー (6/22 AS 埼玉戦)



雨の中の応援に感謝感謝 (7/6 浦和戦)

**6/14 栄町商店街  
わくわくする遊びがいっぱい！**

14回目となる「わくわく子どもフェスタ21」(同実行委員会主催)が開催され、多くの家族連れらでにぎわいました。

栄町商店街が歩行者天国になり、子育て支援団体、市内の大学生、高校生の有志グループ、スポーツ少年団など25団体が出店や体験教室などを開設。来場者が思い思いのコーナーで楽しみました。

高梁市にちなんだ習字・写生・標語を募集した「わくわく子どもコンテスト」の表彰式があり、入賞者27人をたたえました。



迫力のあるダンス



アーケードが来場者で埋まった



**6/26 吉備国際大学  
子育てを楽しく学ぶ**



子どもたちと遊ぶ吉備国大学生

吉備国際大学たかはし子育てカレッジが「第1回子育て講座」を開催し、親子ら約20人が参加しました。講座では、幼児教育の専門家から、絵本の魅力、読み聞かせ折り紙遊びなどを学びました。

同カレッジは、子育て支援関係者と同大学生らが実行委員会を組織し、親子で交流できる遊び場の提供などを企画運営しています。

**6/14 文化交流館  
映画づくりの魅力を語る**



作品について話す滝田洋二郎監督(右)

映画やテレビ番組のロケ支援を行う「たかはし・フィルムコミッション」の設立10周年記念講演会が開催され、市内でロケがあった映画「バッテリー」の滝田洋二郎監督が講演しました。

約100人の映画ファンらが、撮影にまつわるエピソードやロケ地としての高梁市の魅力といった話に聞き入っていました。

**7/9 びほく農協木野山支店  
シャクヤクの品質向上を目指して**



最優秀賞を受賞した森迫さん(右)

5月23日にJR岡山駅で行われた「びほく地域芍薬(シャクヤク)共進会」(JAびほく花木生産部会ほか主催)の入賞者が表彰されました。最優秀賞の高梁市長賞には、松原町松岡、森迫友江さんのシャクヤクが選ばれました。

市内のシャクヤク栽培は、40年の歴史があり中国地方最大の産地。平成25年度の販売実績は324万円です。

**7/5 成羽町本丁商店街  
土曜の夜がアツイ！**



豪華賞品が当たるじゃんけん大会

「成羽名物本丁土曜夜市」(成羽本丁商店会主催)が開かれ、本丁商店街が大勢の人でにぎわいました。

ビンゴゲームや子ども神楽の多彩なイベントに加え、射的など多くの夜店が並びました。イベントの途中、突然ダンスが始まる「フラッシュモブ」を初企画。約60人がリズムカルなダンスを披露しました。

▼米国立州立大学の交換留学生をホームステイ受け入れしました。日本語や日本文化を学ぼうとする意欲的な態度が印象的でした。私も見習って、何事にも積極的に取り組みたいものです。そういえば、先日、福岡に行く新幹線の中で、外国人に「広島に止まるか?」と聞かれ(たぶん)、「ネクスト、ヒロシマ」と答えるのが精いっぱいでした。まず、英語から始めてみましょうか。(KH)

▼4年に1度開催されるサッカーのワールドカップ。開催国ブラジルで、各国の代表が世界一を目指し、熱い戦いを繰り広げました。残念ながら日本代表は健闘もむなしく予選敗退しましたが、日本を代表して戦う選手たちを多くの皆さんが寝不足になりながら応援したのではないのでしょうか。日本人が日本代表を応援するよう、高梁の地で頑張るシャルムを高梁市民が丸となりアツク応援しようではないですか！(KY)

▼行政放送で、新しくなった高梁市民プールを紹介しました。真新しいプールと、プール周辺に作られた大きな日よけ、滑りにくいシートを敷いた床、そして一新された管理棟と、どれも新しく使いやすいうニバーサルデザインの施設になっています。皆さん、今年の夏はぜひ市民プールを利用して、楽しく涼しく乗り切ってください！(OA)



**編集後記**